

しおみ  
**潮見地区**

面積：6.73 km<sup>2</sup>  
人口：10,633 人（高齢化率 25.6%）  
世帯数：4,772 世帯

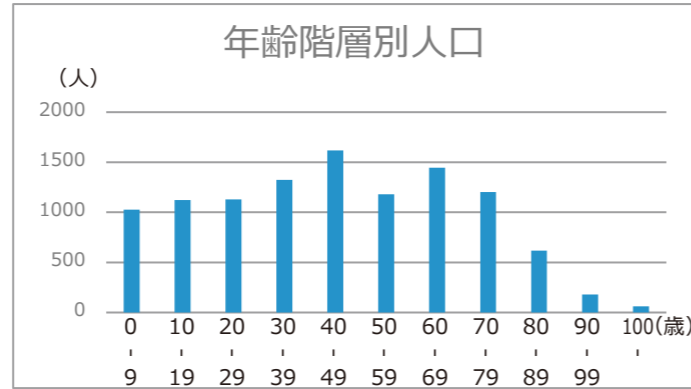


**【地区の特色】**

「潮見」という地名は、その昔、この地方が台風かあるいは大地震のような天災に見舞われ、大津波がこの辺りまで押し寄せ、村人たちは山に駆け登って難を逃れ、日夜潮の動静を窺ったことに由来しているといわれており、地域には神社・仏閣・史跡など多く伝説や民話も数多く残っている。また「宮内伊予柑」の原産地であり、柑橘栽培の立地条件にも大変恵まれていて、昭和 40 年頃より全国に誇れる特産品の地場産業として大きな役割を果たしている。



世代間交流会の様子



**【地域住民からみた地域の状況】**

地区の強み	<ul style="list-style-type: none"> <li>古い地域への新しい世代の参加がスムーズ ・自然が豊か、大川沿いには野鳥が多い</li> <li>高齢者の年齢が松山市平均と同じくらいである</li> <li>伝統文化の継承ができています</li> <li>生活関連施設に恵まれている ・学区の人气が高く他地域からの転入も多い。</li> <li>農家も多いが今後の継承もできている ・自転車で移動可能な範囲が広い</li> <li>県営、市営住宅がある ・学社融合（小、中、公民館）</li> <li>もちつきなど三世代交流の行事がある</li> </ul>
地区の弱み	<ul style="list-style-type: none"> <li>ボランティアへの参加が積極的でない（決して人情的に希薄という訳ではない）</li> <li>地域活動に若者の参加が少ない</li> <li>地域組織の役員になり手が少ない</li> <li>勤労世代間の交流が少ない</li> <li>一部交通の不便な地域、街灯の少ない危険な地域がある</li> <li>下水道不整備なところがある</li> <li>川の近くに災害時避難所がある</li> <li>大雨時に浸水や、土砂崩れの恐れがある危険地域がある</li> </ul>
福祉課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>各行事への参加に限られた人になりがちである</li> <li>県営、市営団地内の情報把握が難しいことがある</li> <li>独居高齢者の増加</li> <li>高齢者の見守りや在宅医療の支援が困難</li> <li>入居施設の不足</li> <li>空き家問題</li> </ul>

**潮見地区社会福祉協議会**

しんせつでおもいやりあるみんなの潮見

構成団体	地区民協・公民館・支所・議会・高齢クラブ連合会・中学校・小学校 町内会・交通安全協会・日赤奉仕団・母子会・PTA・自主防災連合会
主な取り組み	活動内容
高齢者が楽しめる場づくり（各種大会）	地域の高齢者の方の楽しみの場づくりを目的に、各年 1 回ずつ潮見小学校グラウンドなどを活用し、グラウンドゴルフ・ペタンク・ゲートボール大会を主催しています。
世代間交流会	親子三世代にわたっての交流を促進することを目的に、もちつきなどのイベントを開催しています。
配食サービス	一人暮らし高齢者、高齢者世帯を対象に日赤奉仕団の方々と連携して、お弁当の配布を行っています。

**福祉のつどい**

地区内に暮らしている独居高齢者を対象とした「福祉のつどい」を公民館で開催しています。大学の落語研究会による落語やゲームなど会場全体が楽しめる内容となっております。



**<地区社協が目指すもの>**

潮見地区では平成 27 年 3 月に地域福祉活動計画を作成し、①地区社協の基盤整備 ②福祉学習とボランティア ③在宅福祉 ④関係団体との協働を基本に、住民の方々の主体的参加による活動を進めております。

目標テーマの「しんせつで、おもいやりある、みんなの潮見」を目指し、地域における人と人とのつながりを大切にして、互いに笑顔で声かけあい、助け合いの心のある、住みよい潮見地区となるよう、より一層の協力・支え合いに取り組んでまいります。

地区の状況	■地区民協 民生委員 主任児童委員	20 名 2 名	■町内会・自治会・区長会等	8 団体
	■まち協の設立	平成 24 年度	■高齢クラブ ■子ども会 ■自主防災組織	5 クラブ 15 団体 20 組織

本地区は、自然豊かな地理的条件に囲まれ、伝統文化・歴史的な史跡・神社等を守り続ける風土がある一方、転入者及び新しい世代が地域にとけ込みやすい受容的な地域性と複数世代が暮らしやすい風土を有しています。地区社協が積極的に取り組んでいるスポーツ競技での住民交流をはじめ、地区社協が地域の団体とともに進めている「様々な世代が地域活動に参加しやすい環境づくり」のさらなる進展が望まれます。また、豊かな自然は様々な恩恵を与えてくれる一方、災害時のリスクも懸念されるため、地域全体でその対応（組織づくりや社会資源の活用）が必要となるでしょう。



# 地域カルテ ～地区ごとにみる地域特性～

## 『地域カルテ』とは

日常生活における不安や悩み、生活課題が複雑化する中、私たちが安心して暮らせるまちづくりに取り組むためには、まずは自分たちが生活する地域を知ることが必要です。自分たちの地域がどのような状況にあるのか、いわゆる地域の健康状態の記録(カルテ)を作成することで、その時々自分たちの地域の強みや弱みを把握するとともに、地域の魅力や課題を共有することにより、住民の地域福祉活動への参加意識の醸成と今後の活動の活性化につなげることが可能となります。今後は小地域ごとに様々な視点から、より詳細な地域分析を行い、それらをもとに地域の特性に応じたまちづくりに取り組んでいくものです。

第1	五明地区
	伊台地区
	湯山地区

第6	宮前地区
	三津浜地区
	高浜地区
	興居島地区
中島地区	

第8	浅海地区
	立岩地区
	難波地区
	正岡地区
	北条地区
	河野地区
	粟井地区

第2	久米地区
	浮穴地区
	小野地区
	石井東地区
	石井西地区
久谷地区	

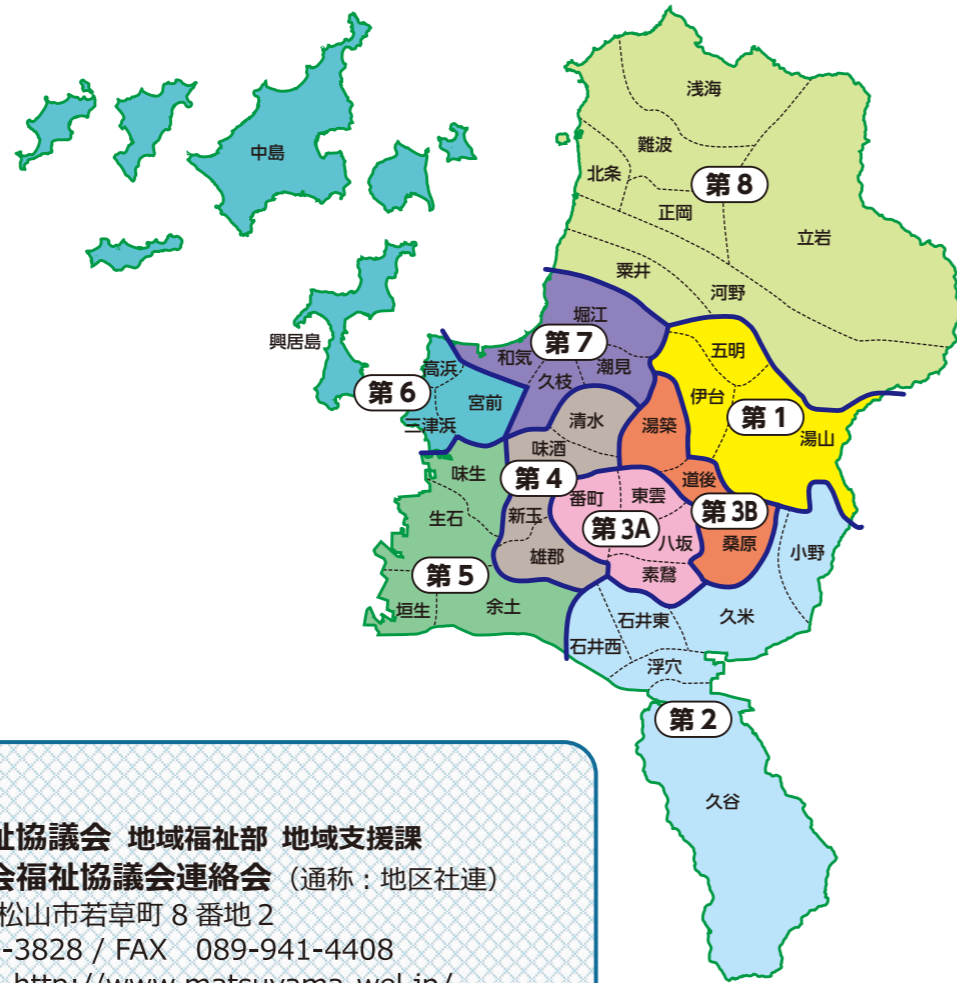
第7	潮見地区
	久枝地区
	和気地区
	堀江地区

第3A	番町地区
	八坂地区
	東雲地区
	素鷲地区

第3B	道後地区
	湯築地区
	桑原地区

第4	雄郡地区
	新玉地区
	清水地区
	味酒地区

第5	余土地地区
	垣生地地区
	生石地区
	味生地地区



発行日 平成31年3月

発行 松山市社会福祉協議会 地域福祉部 地域支援課  
松山市地区社会福祉協議会連絡会 (通称: 地区社連)  
〒790-0808 松山市若草町8番地2  
TEL 089-941-3828 / FAX 089-941-4408  
Web アドレス <http://www.matsuyama-wel.jp/>

作成 地区社会福祉協議会 / 松山市社会福祉協議会

## <『地域カルテ』の見方>

掲載情報は随時、追加・更新し、各地区の地域福祉推進に活用していきます!

### ①地区の概要

- ・面積、人口、世帯数、高齢化率は松山市地区別推計人口、また、年齢階層別人口は松山市地区別年齢別住民基本台帳登録の平成30年4月1日現在のデータを記載しています。
- ・地区の特徴は松山市公民館連絡協議会ホームページを参考にしています。

### ②地域住民からみた地域の状況

- ・研修会のワークショップや会議の意見として、地区社協関係者や民生委員・児童委員をはじめとする地域住民の方々から出された内容をまとめて記載しています。

### ③地区社協の概要と取り組み

- ・平成30年度現在の各地区社協の活動状況及び地区社協が目指すものを記載しています。

### ④地区内関係団体データ

■地区民協	平成30年4月1日現在の定数
■まち協の設立	平成30年11月1日現在の設置状況
■町内会等	平成30年度町内会等状況調査(基準日:平成30年6月1日)
■高齢クラブ	松山市高齢クラブ連合会登録数(平成30年4月1日現在)
■子ども会	平成30年度松山市子ども会連合会加入数
■自主防災組織	自主防災組織 地区別結成状況(平成30年4月1日現在)

### ⑤地域福祉推進のポイント

- ・聖カタリナ大学 教授 恒吉和徳氏をはじめとする学識経験者の皆様から地域福祉推進に向けたコメントをいただいております。

《ご協力いただいた聖カタリナ大学の先生方》

教授 田中顕悟氏、准教授 村岡則子氏、准教授 釜野鉄平氏、助教 近藤益代氏